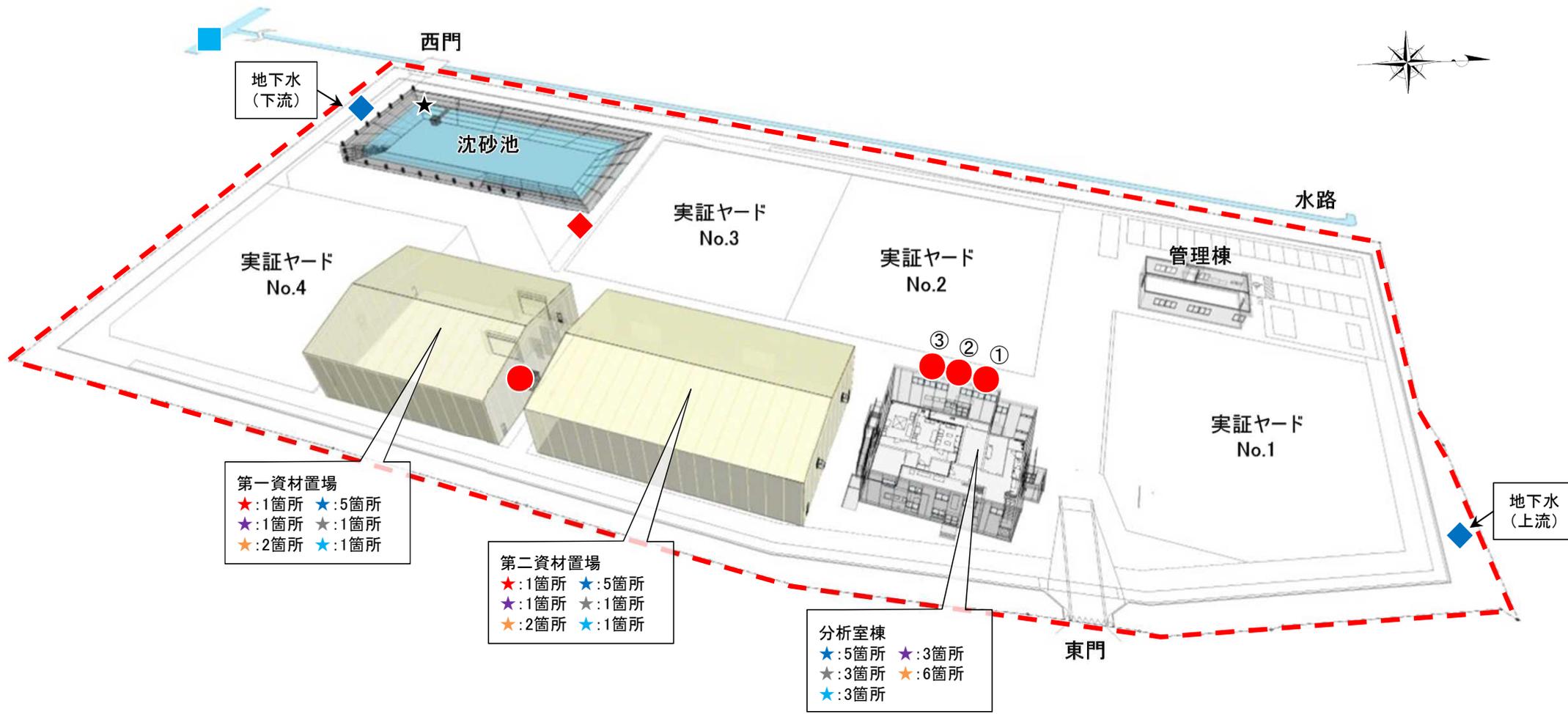


技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）



★:施設の位置



【凡例】

- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量、放射能濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(壁)
- : 排気中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ◆ : 実証試験排水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
-

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年3月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2023/3/2	(稼働後)	19
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2023/3/2	(稼働後)	45

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/3/2	(稼働後)	9.2
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/3/2	(稼働後)	5.9

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/L)	(Bq/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/3/2	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/3/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		測定対象	測定日	Cs-134	Cs-137
				(Bq/m ³ N)	(Bq/m ³ N)
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2023/3/3 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/3/3 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙	2023/3/2 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/3/2 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	円筒ろ紙	2023/3/2 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/3/2 (稼働後)	ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙	2023/3/2 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/3/2 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆実証試験排水の放射能濃度等

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS)
		(mg/L)
2023/3/2		2.4

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	2023/3/2 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	2019/9/27 (稼働前)		ND
2023/3/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2023/3/3	(稼働後)	0.1
	2023/3/6	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2023/3/6 (稼働後)	東	0.64
		西	0.29
		南	0.54
		北	0.22
		中央	0.35
第二資材置場	2023/3/6 (稼働後)	東	0.37
		西	0.26
		南	0.27
		北	0.26
		中央	0.49
分析室棟	2023/3/2 (稼働後)	一般分析第一前処理室	0.11
		固体試料第二前処理室	0.15
		放射能濃度測定室	0.14
		防護員更衣室	0.11
		廊下1	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/cm ³)	(Bq/cm ³)
第一資材置場	2023/3/3 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2023/3/6 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	2023/3/2 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND	ND
		固体試料第一前処理室	ND	ND
		固体試料第二前処理室	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻²Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
第一資材置場	2023/3/6 (稼働後)	床 中央	ND	
		壁 東	ND	
		西	ND	
		設備 集じん機	ND	
		第二資材置場	2023/3/6 (稼働後)	床 中央
壁 東	ND			
西	ND			
設備 操作盤	ND			
分析室棟	2023/3/2 (稼働後)	一般分析第一前処理室		床 中央
		壁	東	ND
			西	ND
			設備 集じん機	ND
		固体試料第一前処理室	床 中央	ND
	壁 東		ND	
	西		ND	
	設備 集じん機		ND	
	固体試料第二前処理室		床 中央	ND
		壁 東	ND	
西		ND		
設備 集じん機		ND		
設備 集じん機		2023/3/2 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.20 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年2月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2023/2/2	(稼働後)	22
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2023/2/2	(稼働後)	39

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/2/2	(稼働後)	8.6
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/2/2	(稼働後)	6.3

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		測定対象	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2023/2/3	(稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/2/3	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	円筒ろ紙	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2023/2/10	8.3	ND	21	1.3

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流 回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2023/2/1 ～2023/2/22	4	0.2	3.1	ND	ND	24.3

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2023/2/2	2.2

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/2/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2023/2/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2023/2/3	(稼働後)	ND
第二資材置場	2023/2/3	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点		測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	東	2023/2/3	(稼働後)	0.63
	西	2023/2/3	(稼働後)	0.26
	南	2023/2/3	(稼働後)	0.41
	北	2023/2/3	(稼働後)	0.22
	中央	2023/2/3	(稼働後)	0.36
第二資材置場	東	2023/2/3	(稼働後)	0.37
	西	2023/2/3	(稼働後)	0.24
	南	2023/2/3	(稼働後)	0.26
	北	2023/2/3	(稼働後)	0.25
	中央	2023/2/3	(稼働後)	0.37
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/2/2	(稼働後)	0.10
	固体試料第二前処理室	2023/2/2	(稼働後)	0.16
	放射能濃度測定室	2023/2/2	(稼働後)	0.12
	防護具脱衣室	2023/2/2	(稼働後)	0.10
	廊下1	2023/2/2	(稼働後)	0.11

★空気中の放射能濃度

測定地点		測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場		2023/2/3	(稼働後)	ND	ND
第二資材置場		2023/2/3	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点			測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
第一資材置場	床	中央	2023/2/3	(稼働後)	ND	
		東	2023/2/3	(稼働後)	ND	
	壁	西	2023/2/3	(稼働後)	ND	
		設備	集じん機	2023/2/3	(稼働後)	ND
第二資材置場	床	中央	2023/2/3	(稼働後)	ND	
		東	2023/2/3	(稼働後)	ND	
	壁	西	2023/2/3	(稼働後)	ND	
		設備	操作盤	2023/2/3	(稼働後)	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	床	中央	2023/2/2	(稼働後)	ND
			東	2023/2/2	(稼働後)	ND
		壁	西	2023/2/2	(稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/2/2	(稼働後)
	固体試料第一前処理室	床	中央	2023/2/2	(稼働後)	ND
			東	2023/2/2	(稼働後)	ND
		壁	西	2023/2/2	(稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/2/2	(稼働後)
	固体試料第二前処理室	床	中央	2023/2/2	(稼働後)	ND
			東	2023/2/2	(稼働後)	ND
		壁	西	2023/2/2	(稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/2/2	(稼働後)

表面汚染密度検出下限値：0.20 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年1月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日	(稼働前/稼働後)	
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2023/1/10	(稼働後)	25
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2023/1/10	(稼働後)	50

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日	(稼働前/稼働後)	
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/1/10	(稼働後)	9.2
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/1/10	(稼働後)	6.3

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日	(稼働前/稼働後)		
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/1/10	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/1/10	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日	(稼働前/稼働後)		
第一資材置場	集じん機	2023/1/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/1/6	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	2023/1/5	(稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/1/5	(稼働後)	ND
	②固体試料第一前処理室	2023/1/5	(稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/1/5	(稼働後)	ND
	③固体試料第二前処理室	2023/1/5	(稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/1/5	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水系イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質濃度
	(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
測定日	8.2	1.1	21	ND
2023/1/11				

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L
浮遊物質濃度 (SS) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2023/1/20	2	0.3	4.5	ND	ND	12.5

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質濃度
	(SS) (mg/L)
測定日	6
2023/1/10	

SS管理値：60mg/L

浮遊物質濃度 (SS) の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)
2023/1/10	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2023/1/10	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日	(稼働前/稼働後)	
第一資材置場	2023/1/6	(稼働後)	0.2
第二資材置場	2023/1/6	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目 (稼働前/稼働後)	空間線量率
			(μSv/h)
第一資材置場	東	2023/1/6 (稼働後)	0.60
	西	2023/1/6 (稼働後)	0.24
	南	2023/1/6 (稼働後)	0.41
	北	2023/1/6 (稼働後)	0.19
	中央	2023/1/6 (稼働後)	0.35
第二資材置場	東	2023/1/6 (稼働後)	0.34
	西	2023/1/6 (稼働後)	0.23
	南	2023/1/6 (稼働後)	0.25
	北	2023/1/6 (稼働後)	0.25
	中央	2023/1/6 (稼働後)	0.36
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/1/5 (稼働後)	0.10
	固体試料第二前処理室	2023/1/5 (稼働後)	0.15
	放射能濃度測定室	2023/1/5 (稼働後)	0.13
	防護具脱衣室	2023/1/5 (稼働後)	0.11
	廊下1	2023/1/5 (稼働後)	0.11

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目 (稼働前/稼働後)	Cs-134	Cs-137
			(Bq/cm ³)	(Bq/cm ³)
第一資材置場	2023/1/6	(稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2023/1/6	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/1/5 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2023/1/5 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2023/1/5 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目 (稼働前/稼働後)	表面汚染密度	
			(Bq/cm ²)	
第一資材置場	床	中央	2023/1/6 (稼働後) ND	
		東	2023/1/6 (稼働後) ND	
	壁	西	2023/1/6 (稼働後) ND	
		設備	集じん機	2023/1/6 (稼働後) ND
第二資材置場	床	中央	2023/1/6 (稼働後) ND	
		東	2023/1/6 (稼働後) ND	
	壁	西	2023/1/6 (稼働後) ND	
		設備	操作盤	2023/1/6 (稼働後) ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	床	中央	2023/1/5 (稼働後) ND
		壁	東	2023/1/5 (稼働後) ND
		西	2023/1/5 (稼働後) ND	
		設備	集じん機	2023/1/5 (稼働後) ND
	固体試料第一前処理室	床	中央	2023/1/5 (稼働後) ND
		壁	東	2023/1/5 (稼働後) ND
		西	2023/1/5 (稼働後) ND	
		設備	集じん機	2023/1/5 (稼働後) ND
	固体試料第二前処理室	床	中央	2023/1/5 (稼働後) ND
		壁	東	2023/1/5 (稼働後) ND
		西	2023/1/5 (稼働後) ND	
		設備	集じん機	2023/1/5 (稼働後) ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年12月

◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2022/12/6 (稼働後)		24
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2022/12/6 (稼働後)		50

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/12/6 (稼働後)		8.4
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/12/6 (稼働後)		6.2

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/12/6 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/12/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/12/7 (稼働後)	ND	ND
		フロン部	2022/12/7 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙	2022/12/8 (稼働後)	ND	ND
		フロン部	2022/12/8 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	円筒ろ紙	2022/12/8 (稼働後)	ND	ND
		フロン部	2022/12/8 (稼働後)	ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙	2022/12/8 (稼働後)	ND	ND
		フロン部	2022/12/8 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（フロン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆ 実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	測定日			
2022/12/1	8.0	ND	9.3	ND

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

浮遊物質量（SS）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆ 実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流 回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2022/12/15	1	<0.1	<0.1	ND	ND	7.6

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★ 沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	測定日
2022/12/22	26

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

★ 沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/12/22 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)	ND	1.2
2022/12/6 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目	
	測定日	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2022/12/8 (稼働後)	0.1
第二資材置場	2022/12/8 (稼働後)	0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	
		空間線量率 (μSv/h)	
第一資材置場	2022/12/8 (稼働後)	東	0.63
		西	0.26
		南	0.44
		北	0.22
		中央	0.31
第二資材置場	2022/12/8 (稼働後)	東	0.36
		西	0.24
		南	0.26
		北	0.26
		中央	0.26
分析室棟	2022/12/8 (稼働後)	一般分析第一前処理室	0.09
		固体試料第二前処理室	0.14
		放射能濃度測定室	0.13
		防護員脱衣室	0.10
		廊下1	0.12

★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	
		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2022/12/8 (稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2022/12/8 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	2022/12/8 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND
		固体試料第一前処理室	ND
		固体試料第二前処理室	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻³Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻³Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

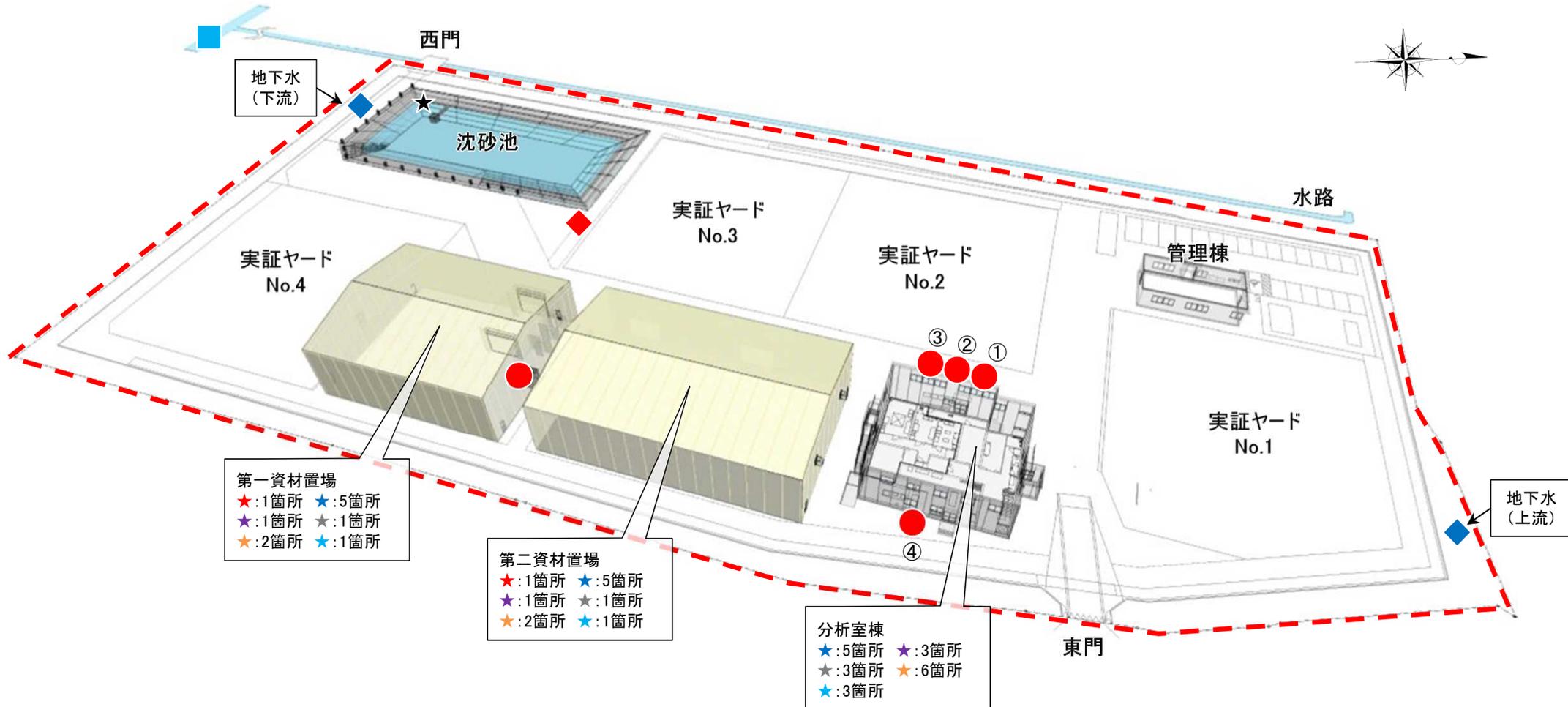
測定地点	測定日	測定項目	
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
第一資材置場	2022/12/8 (稼働後)	床	ND
		壁	ND
		東	ND
		西	ND
		設備	ND
第二資材置場	2022/12/8 (稼働後)	床	ND
		壁	ND
		東	ND
		西	ND
		設備	ND
分析室棟	2022/12/8 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND
		床	ND
		壁	ND
		東	ND
		西	ND
		設備	ND
		固体試料第一前処理室	ND
		床	ND
		壁	ND
		東	ND
		西	ND
		設備	ND
		固体試料第二前処理室	ND
		床	ND
		壁	ND
東	ND		
西	ND		
設備	ND		

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）2022年4月～11月



★:施設の位置



【凡例】

- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量、放射能濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(壁)
- : 排気中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ◆ : 実証試験排水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
-

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年11月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2022/11/8	(稼働後)	22
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2022/11/8	(稼働後)	53

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2022/11/8	(稼働後)	6.6
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2022/11/8	(稼働後)	5.3

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2022/11/8	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2022/11/8	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/11/8 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/11/8 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2022/11/9 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/11/9 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料第一前処理室	円筒ろ紙	2022/11/9 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/11/9 (稼働後)	ND	ND
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2022/11/9 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/11/9 (稼働後)	ND	ND
	④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	2022/11/8 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/11/8 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（フレノ部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2022/11/11	8.0	ND	16	1

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

生物化学的酸素要求量 (BOD) のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2022/11/25	1	0.4	0.4	ND	ND	9.2

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2022/11/25	2

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/11/25	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2022/11/8	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2022/11/9	(稼働後)	ND
第二資材置場	2022/11/9	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2022/11/9 (稼働後)	東	0.69
		西	0.26
		南	0.44
		北	0.19
		中央	0.33
第二資材置場	2022/11/9 (稼働後)	東	0.33
		西	0.25
		南	0.26
		北	0.31
		中央	0.28
分析室棟	2022/11/9 (稼働後)	一般分析第一前処理室	0.09
		固体試料第二前処理室	0.13
		放射能濃度測定室	0.13
		防護具脱衣室	0.10
		廊下1	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2022/11/9	(稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2022/11/9	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	2022/11/9	一般分析第一前処理室	ND	ND
		固体試料第一前処理室	ND	ND
		固体試料第二前処理室	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目	測定日		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
		測定日	測定項目	
第一資材置場	床	2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
	壁	2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
第二資材置場	床	2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
	壁	2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
	固体試料第一前処理室	2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
		2022/11/9	(稼働後)	ND
固体試料第二前処理室	2022/11/9	(稼働後)	ND	
	2022/11/9	(稼働後)	ND	
	2022/11/9	(稼働後)	ND	
	2022/11/9	(稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年10月

◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2022/10/5 (稼働後)		18
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2022/10/5 (稼働後)		37

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/10/5 (稼働後)		8.2
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/10/5 (稼働後)		6.3

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/10/5 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/10/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/10/5 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/10/5 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙	2022/10/6 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/10/6 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	円筒ろ紙	2022/10/6 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/10/6 (稼働後)	ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙	2022/10/6 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/10/6 (稼働後)	ND	ND
	④放射能濃度 測定室前室	円筒ろ紙	2022/10/5 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/10/5 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆ 実証試験排水の環境項目

測定項目	水系イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質濃度
	(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
2022/10/19	8.2	ND	45	ND

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

浮遊物質濃度（SS）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆ 実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流 回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2022/10/31	1	<0.1	<0.1	ND	ND	6.1

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★ 沈砂池からの放流水の浮遊物質濃度

測定項目	浮遊物質濃度
	(SS) (mg/L)
2022/10/12	2.4

SS管理値：60mg/L

浮遊物質濃度（SS）の報告下限値：1mg/L

★ 沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定項目	Cs-134	Cs-137
	(Bq/L)	(Bq/L)
2022/10/12 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)		ND	1.2
2022/10/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2022/10/6 (稼働後)		ND
	2022/10/6 (稼働後)		ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2022/10/6 (稼働後)	東	0.60
		西	0.27
		南	0.57
		北	0.20
		中央	0.36
第二資材置場	2022/10/6 (稼働後)	東	0.32
		西	0.27
		南	0.23
		北	0.31
		中央	0.26
分析室棟	2022/10/6 (稼働後)	一般分析第一前処理室	0.10
		固体試料第二前処理室	0.13
		放射能濃度測定室	0.14
		防護具脱衣室	0.10
		廊下1	0.11

★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/cm ³)	(Bq/cm ³)
第一資材置場	2022/10/6 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2022/10/6 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	2022/10/6 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND	ND
		固体試料第一前処理室	ND	ND
		固体試料第二前処理室	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
第一資材置場	2022/10/6 (稼働後)	床 中央	ND	
		壁 東	ND	
		西	ND	
		設備 集じん機	ND	
		2022/10/6 (稼働後)	ND	
第二資材置場	2022/10/6 (稼働後)	床 中央	ND	
		壁 東	ND	
		西	ND	
		設備 操作壁	ND	
		2022/10/6 (稼働後)	ND	
分析室棟	2022/10/6 (稼働後)	一般分析第一前処理室 床 中央	ND	
		壁 東	ND	
		西	ND	
		設備 集じん機	ND	
		2022/10/6 (稼働後)	ND	
	固体試料第一前処理室	2022/10/6 (稼働後)	床 中央	ND
			壁 東	ND
			西	ND
			設備 集じん機	ND
	固体試料第二前処理室	2022/10/6 (稼働後)	床 中央	ND
			壁 東	ND
			西	ND
			設備 集じん機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年9月

◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2022/9/8	(稼働後)	19
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2022/9/8	(稼働後)	37

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2022/9/8	(稼働後)	7.4
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2022/9/8	(稼働後)	6.7

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/L)	(Bq/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2022/9/8	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2022/9/8	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定日	Cs-134	Cs-137	
			(Bq/m ³ N)	(Bq/m ³ N)	
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/9/9 (稼働後)	ND	ND
	円筒ろ紙	2022/9/9 (稼働後)	ND	ND	
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2022/9/8 (稼働後)	ND	ND
		円筒ろ紙	2022/9/8 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料第一前処理室	円筒ろ紙	2022/9/8 (稼働後)	ND	ND
		円筒ろ紙	2022/9/8 (稼働後)	ND	ND
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2022/9/8 (稼働後)	ND	ND
		円筒ろ紙	2022/9/8 (稼働後)	ND	ND
	④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	2022/9/9 (稼働後)	ND	ND
		円筒ろ紙	2022/9/9 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（円筒ろ紙部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆ 実証試験排水の環境項目

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆ 実証試験排水の放射能濃度等

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

★ 沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日	
2022/9/20	4.7

SS管理値：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値：1mg/L

★ 沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/9/20	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2022/9/8	(稼働後)	ND	1.7

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2022/9/9	(稼働後)	ND
第二資材置場	2022/9/9	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	東	2022/9/9 (稼働後)	0.60
	西	2022/9/9 (稼働後)	0.27
	南	2022/9/9 (稼働後)	0.55
	北	2022/9/9 (稼働後)	0.21
	中央	2022/9/9 (稼働後)	0.33
第二資材置場	東	2022/9/9 (稼働後)	0.31
	西	2022/9/9 (稼働後)	0.23
	南	2022/9/9 (稼働後)	0.25
	北	2022/9/9 (稼働後)	0.28
	中央	2022/9/9 (稼働後)	0.26
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/9/8 (稼働後)	0.10
	固体試料第二前処理室	2022/9/8 (稼働後)	0.13
	放射能濃度測定室	2022/9/8 (稼働後)	0.13
	防護具脱衣室	2022/9/8 (稼働後)	0.10
	廊下1	2022/9/8 (稼働後)	0.12

★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/cm ³)	(Bq/cm ³)
第一資材置場	2022/9/9	(稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2022/9/9	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/9/8	(稼働後)	ND
	固体試料第一前処理室	2022/9/8	(稼働後)	ND
	固体試料第二前処理室	2022/9/8	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)
第一資材置場	2022/9/9 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
第二資材置場	2022/9/9 (稼働後)	設備 集じん機	ND
		床 中央	ND
		壁 東	ND
分析室棟	2022/9/9 (稼働後)	設備 操作盤	ND
		床 中央	ND
		壁 東	ND
	2022/9/8 (稼働後)	壁 西	ND
		設備 集じん機	ND
		床 中央	ND
	2022/9/8 (稼働後)	壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
		床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
2022/9/8 (稼働後)	設備 集じん機	ND	
	床 中央	ND	
	壁 東	ND	
2022/9/8 (稼働後)	西	ND	
	設備 集じん機	ND	
	床 中央	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年8月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2022/8/4 (稼働後)		16
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2022/8/4 (稼働後)		32

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/8/4 (稼働後)		6.9
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/8/4 (稼働後)		6.0

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/8/4 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/8/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/8/5 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/8/5 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙	2022/8/4 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/8/4 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室※	円筒ろ紙	- (稼働後)	-	-
		ドレン部	- (稼働後)	-	-
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙	2022/8/4 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/8/4 (稼働後)	ND	ND
	④放射能濃度 測定室前室	円筒ろ紙	2022/8/5 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/8/5 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

※除じん装置の不具合により、装置の稼働がなかったため測定なし。

◆実証試験排水の環境項目

測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2022/7/22 ※	8.5	1.7	26

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

※放流は8/5に実施した。

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流 回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2022/8/5	1	2.4	2.4	ND	ND	2.9

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2022/8/4	

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	2022/8/4 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	2019/9/27 (稼働前)		ND
2022/8/4 (稼働後)		ND	2.3

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2022/8/5 (稼働後)		ND
第二資材置場	2022/8/5 (稼働後)		ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2022/8/5 (稼働後)	東	0.63
		西	0.25
		南	0.49
		北	0.22
		中央	0.35
第二資材置場	2022/8/5 (稼働後)	東	0.37
		西	0.24
		南	0.25
		北	0.27
		中央	0.28
分析室棟	2022/8/4 (稼働後)	一般分析第一前処理室	0.10
		固体試料第二前処理室	0.13
		放射能濃度測定室	0.14
		防護具脱衣室	0.10
		廊下1	0.13

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2022/8/5 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2022/8/5 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	2022/8/4 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND	ND
		固体試料第一前処理室	ND	ND
		固体試料第二前処理室	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻³Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
第一資材置場	2022/8/5 (稼働後)	床 中央	ND		
		壁 東	ND		
		西	ND		
		設備 集じん機	ND		
		床 中央	ND		
第二資材置場	2022/8/5 (稼働後)	床 東	ND		
		西	ND		
		設備 操作盤	ND		
		分析室棟	2022/8/4 (稼働後)	床 中央	ND
				壁 東	ND
西	ND				
分析室棟	2022/8/4 (稼働後)	設備 集じん機	ND		
		固体試料第一前処理室	床 中央	ND	
			壁 東	ND	
			西	ND	
		分析室棟	2022/8/4 (稼働後)	設備 集じん機	ND
固体試料第二前処理室	床 中央			ND	
	壁 東			ND	
	西			ND	
設備 集じん機	ND				

表面汚染密度検出下限値：0.16 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年7月

◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2022/7/7	(稼働後)	15
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2022/7/7	(稼働後)	52

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2022/7/7	(稼働後)	7.2
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2022/7/7	(稼働後)	7.2

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2022/7/7	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2022/7/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/7/8 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/7/8 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2022/7/7 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/7/7 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料第一前処理室※	円筒ろ紙	- (稼働後)	-	-
		ドレン部	- (稼働後)	-	-
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2022/7/7 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2022/7/7 (稼働後)	ND	ND
④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	2022/7/8 (稼働後)	ND	ND	
	ドレン部	2022/7/8 (稼働後)	ND	ND	

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

※除じん装置の不具合により、装置の稼働がなかったため測定なし。

◆ 実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質
	(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
測定日	8.5	1.2	18	2.8
2022/7/1				

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

◆ 実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濃度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2022/7/1 ～2022/7/22	2	1.9	3.1	ND	ND	17.5

濃度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★ 沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質
	(SS) (mg/L)
測定日	2.1
2022/7/7	

SS管理値：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告値下限値：1mg/L

★ 沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/7/7 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)	ND	1.2
2022/7/7 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2022/7/6	(稼働後)	0.1
	2022/7/6	(稼働後)	0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2022/7/6 (稼働後)	東		0.63
		西		0.25
		南		0.39
		北		0.22
		中央		0.37
第二資材置場	2022/7/6 (稼働後)	東		0.41
		西		0.23
		南		0.27
		北		0.25
		中央		0.29
分析室棟	2022/7/7 (稼働後)	一般分析第一前処理室		0.10
		固体試料第二前処理室		0.13
		放射能濃度測定室		0.16
		防護具脱衣室		0.11
		廊下1		0.11

★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	
		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2022/7/6 (稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2022/7/6 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	2022/7/7 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND
		固体試料第一前処理室	ND
		固体試料第二前処理室	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目		
			表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
第一資材置場	2022/7/6 (稼働後)	床	ND	
		壁	ND	
		西	ND	
		設備	ND	
		集じん機	ND	
第二資材置場	2022/7/6 (稼働後)	床	ND	
		壁	ND	
		東	ND	
		西	ND	
		設備	ND	
分析室棟	2022/7/7 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND	
		壁	ND	
		東	ND	
		西	ND	
		設備	ND	
	固体試料第一前処理室	2022/7/7 (稼働後)	床	ND
			壁	ND
			東	ND
			西	ND
			設備	ND
	固体試料第二前処理室	2022/7/7 (稼働後)	床	ND
			壁	ND
			東	ND
			西	ND
			設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.17 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年6月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2022/6/2 (稼働後)		13
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2022/6/2 (稼働後)		19

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/6/2 (稼働後)		7.0
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/6/2 (稼働後)		7.9

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/6/2 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/6/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/6/8 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/6/8 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2022/6/7 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/6/7 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料第一前処理室※	円筒ろ紙	- (稼働後)	-	-
		フレノ部	- (稼働後)	-	-
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2022/6/7 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/6/7 (稼働後)	ND	ND
④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	2022/6/8 (稼働後)	ND	ND	
	フレノ部	2022/6/8 (稼働後)	ND	ND	

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（フレノ部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

※除じん装置の不具合により、装置の稼働がないため測定なし。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水系イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2022/6/7	8.0	1.4	12	3.8

pH管理値：5.8～8.6, BOD管理値：60mg/L, COD管理値：90mg/L, SS管理値：60mg/L

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2022/6/7 ～2022/6/24	3	1.4	4.0	ND	ND	24.9

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2022/6/3	1.8

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2022/6/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2019/9/27 (稼働前)	ND	1.2
2022/6/2 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2022/6/3 (稼働後)		ND
第二資材置場	2022/6/3 (稼働後)		ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
第一資材置場	東	2022/6/3 (稼働後)	0.53
	西	2022/6/3 (稼働後)	0.25
	南	2022/6/3 (稼働後)	0.43
	北	2022/6/3 (稼働後)	0.24
	中央	2022/6/3 (稼働後)	0.33
第二資材置場	東	2022/6/3 (稼働後)	0.36
	西	2022/6/3 (稼働後)	0.24
	南	2022/6/3 (稼働後)	0.26
	北	2022/6/3 (稼働後)	0.23
	中央	2022/6/3 (稼働後)	0.26
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/6/7 (稼働後)	0.08
	固体試料第二前処理室	2022/6/7 (稼働後)	0.12
	放射能濃度測定室	2022/6/7 (稼働後)	0.13
	防護具脱衣室	2022/6/7 (稼働後)	0.10
	廊下1	2022/6/7 (稼働後)	0.10

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
第一資材置場	2022/6/3 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2022/6/3 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/6/7 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2022/6/7 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2022/6/7 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻³Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻³Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)			
	測定日					
第一資材置場	床	中央	2022/6/3 (稼働後)	ND		
		東	2022/6/3 (稼働後)	ND		
	壁	西	2022/6/3 (稼働後)	ND		
		設備	集じん機	2022/6/3 (稼働後)	ND	
		第二資材置場	床	中央	2022/6/3 (稼働後)	ND
分析室棟	壁	東	2022/6/3 (稼働後)	ND		
		西	2022/6/3 (稼働後)	ND		
		設備	操作盤	2022/6/3 (稼働後)	ND	
	床	中央	2022/6/7 (稼働後)	ND		
		東	2022/6/7 (稼働後)	ND		
		西	2022/6/7 (稼働後)	ND		
	設備	集じん機	2022/6/7 (稼働後)	ND		
		固体試料第一前処理室	床	中央	2022/6/7 (稼働後)	ND
		壁	東	2022/6/7 (稼働後)	ND	
	固体試料第二前処理室	床	中央	2022/6/7 (稼働後)	ND	
			西	2022/6/7 (稼働後)	ND	
		壁	設備	集じん機	2022/6/7 (稼働後)	ND
東			2022/6/7 (稼働後)	ND		
西			2022/6/7 (稼働後)	ND		
設備			集じん機	2022/6/7 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.17 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年5月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		2.7
	2022/5/12 (稼働後)		1.5
下流	2019/9/6 (稼働前)		1.4
	2022/5/12 (稼働後)		3.5

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/5/12 (稼働後)		7.7
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/5/12 (稼働後)		7.9

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/5/12 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/5/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/5/18 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/5/18 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2022/5/17 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/5/17 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料第一前処理室※	円筒ろ紙	- (稼働後)	-	-
		フレノ部	- (稼働後)	-	-
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2022/5/17 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/5/17 (稼働後)	ND	ND
	④放射能濃度測定室前室	円筒ろ紙	2022/5/18 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/5/18 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（フレノ部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

※除じん装置の不具合により、装置の稼働がないため測定なし。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2022/5/6	7.6	1.8	24	5.2

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2022/5/20	1	1.8	1.8	ND	ND	8

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2022/5/17	1.6

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2022/5/17 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2019/9/27 (稼働前)	ND	1.2
2022/5/12 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2022/5/18 (稼働後)		ND
	2022/5/18 (稼働後)		ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
第一資材置場	東	2022/5/18 (稼働後)	0.52
		2022/5/18 (稼働後)	0.26
		2022/5/18 (稼働後)	0.40
		2022/5/18 (稼働後)	0.22
		2022/5/18 (稼働後)	0.32
第二資材置場	東	2022/5/18 (稼働後)	0.38
		2022/5/18 (稼働後)	0.24
		2022/5/18 (稼働後)	0.25
		2022/5/18 (稼働後)	0.27
		2022/5/18 (稼働後)	0.28
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/5/17 (稼働後)	0.09
		2022/5/17 (稼働後)	0.14
	固体試料第二前処理室	2022/5/17 (稼働後)	0.14
		2022/5/17 (稼働後)	0.14
	放射能濃度測定室	2022/5/17 (稼働後)	0.10
		2022/5/17 (稼働後)	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
第一資材置場	2022/5/18 (稼働後)		ND	ND
	2022/5/18 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/5/17 (稼働後)	ND	ND
		2022/5/17 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2022/5/17 (稼働後)	ND	ND
		2022/5/17 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻³Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻³Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
	測定日				
第一資材置場	床	中央	2022/5/18 (稼働後)	ND	
		東	2022/5/18 (稼働後)	ND	
	壁	西	2022/5/18 (稼働後)	ND	
		設備	集じん機	2022/5/18 (稼働後)	ND
第二資材置場	床	中央	2022/5/18 (稼働後)	ND	
		東	2022/5/18 (稼働後)	ND	
	壁	西	2022/5/18 (稼働後)	ND	
		設備	操作盤	2022/5/18 (稼働後)	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	床	中央	2022/5/17 (稼働後)	ND
			東	2022/5/17 (稼働後)	ND
		壁	西	2022/5/17 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2022/5/17 (稼働後)
	固体試料第一前処理室	床	中央	2022/5/17 (稼働後)	ND
			東	2022/5/17 (稼働後)	ND
		壁	西	2022/5/17 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2022/5/17 (稼働後)
	固体試料第二前処理室	床	中央	2022/5/17 (稼働後)	ND
			東	2022/5/17 (稼働後)	ND
		壁	西	2022/5/17 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2022/5/17 (稼働後)

表面汚染密度検出下限値：0.17 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年4月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2022/4/7 (稼働後)		16
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2022/4/7 (稼働後)		22

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/4/7 (稼働後)		8.0
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2022/4/7 (稼働後)		7.0

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/4/7 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2022/4/7 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2022/4/22 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/4/22 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙	2022/4/21 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/4/21 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室※	円筒ろ紙	- (稼働後)	-	-
		フレノ部	- (稼働後)	-	-
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙	2022/4/21 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/4/21 (稼働後)	ND	ND
	④放射能濃度 測定室前室	円筒ろ紙	2022/4/22 (稼働後)	ND	ND
		フレノ部	2022/4/22 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（フレノ部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

※集じん装置の不具合により、装置の稼働がないため測定なし。

◆実証試験排水の環境項目

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆実証試験排水の放射能濃度等

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/4/6	ND

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/4/6 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)	ND	1.2
2022/4/7 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2022/4/22 (稼働後)		ND
第二資材置場	2022/4/22 (稼働後)		ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	東	2022/4/22 (稼働後)	0.51
	西	2022/4/22 (稼働後)	0.26
	南	2022/4/22 (稼働後)	0.40
	北	2022/4/22 (稼働後)	0.22
	中央	2022/4/22 (稼働後)	0.31
第二資材置場	東	2022/4/22 (稼働後)	0.39
	西	2022/4/22 (稼働後)	0.24
	南	2022/4/22 (稼働後)	0.26
	北	2022/4/22 (稼働後)	0.26
	中央	2022/4/22 (稼働後)	0.27
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/4/21 (稼働後)	0.10
	固体試料第二前処理室	2022/4/21 (稼働後)	0.14
	放射能濃度測定室	2022/4/21 (稼働後)	0.13
	防護員更衣室	2022/4/21 (稼働後)	0.09
	廊下1	2022/4/21 (稼働後)	0.11

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2022/4/22 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2022/4/22 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2022/4/21 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2022/4/21 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2022/4/21 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻²Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)
第一資材置場	2022/4/22 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
		設備 操作盤	ND
第二資材置場	2022/4/22 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
		設備 操作盤	ND
分析室棟	2022/4/21 (稼働後)	一般分析第一前処理室 床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
		設備 操作盤	ND
	2022/4/21 (稼働後)	固体試料第一前処理室 床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
		設備 操作盤	ND
	2022/4/21 (稼働後)	固体試料第二前処理室 床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
		設備 操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.16 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²